

2016年4月から2021年3月までに解剖実習に参加した学生さんと
医学部教育に関わる教員へ

当講座では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象者の一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

| | |
|---------------------------|--|
| 研究課題名 | 解剖実習におけるシミュレーション教育を用いた学習効果の検証 |
| 研究機関名 | 愛知医科大学医学部 |
| 研究機関の長 | 医学部長 若槻明彦 |
| 担当科等 | 解剖学講座 |
| 研究責任者 | 解剖学講座 矢倉富子 |
| 試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名 | 【非該当】 |
| 研究の意義・目的 | 医学関連分野の教育において必要な望ましい学修目標、学修内容を明らかにした新しい解剖学教育の開発に寄与できます。 |
| 対象者 | 解剖実習を受講した学生と解剖実習に参加した医学部教育に関わる教員 |
| 研究の方法 | 医学部解剖学講座の教員指導のもとで、実習前準備教育としてのシミュレーション学習を行ったのちに解剖実習を行います。その際に、シミュレーション学習での学習効果を明らかにすることを目的とし、解剖実習に参加した医学部教育に関わる教員および学生を対象に意見交換およびアンケート調査を実施します。 調査項目は、(1)解剖学実習でこれまでの学習を活かしましたか？(2)シミュレーション実習の経験は活かしましたか？(3)実習課題について量はどうか？(4)実習課題について時間はどうか？(5)人体解剖実習で解剖学について理解が深まりましたか？と実習前準備教育としてのシミュレーション学習についてのアンケート調査とメス等の使用に関するアンケート調査とします。 |
| 研究期間 | 倫理審査承認日 ~ 2022年3月31日 |
| 研究に用いる試料・情報 | 情報：【シミュレーション学習やメス等の使用に関するアンケート調査】 |
| 外部への試料・情報の提供 | 【なし】 |
| 問い合わせ先 | 愛知医科大学 医学部解剖学講座 |

担当者：助教 矢倉富子

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 12307)